

科目区分	専門分野	授業科目	成人・老年看護学援助論Ⅰ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30 時間)	開講年次	2年次
目的: 成人・老年期にある対象への健康状態の経過に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。 目標: 1 急性期・周手術期の看護を理解できる。 2 回復期の看護を理解できる 3 慢性期の看護を理解できる。 4 終末期の看護を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 成人・老年期にある対象の急性期・周手術期の看護	9	1 急性期の看護 1) 急性期の特徴 (1) 急性期の経過と治療の特徴 (2) 治療環境に対する反応 (3) 急性期にある患者及び家族の特徴 2) 急性期にある成人・老年期の対象への看護 (1) 急性期における生命の維持、安全な治療実施への看護 (2) 急性期にある患者の心理と援助 (3) 急性期にある患者の家族の心理と援助 (4) 急性期看護の倫理的側面 2 周手術期の看護 1) 周手術期の特徴 (1) 手術療法による侵襲と生体への反応 (2) 周手術期における看護師の役割 (3) 周手術期における安全管理 2) 周手術期にある成人・老年期の対象への看護 (1) 手術前の看護 (2) 手術中の看護 (3) 手術後の看護 (4) 術後合併症と予防	
2 成人・老年期にある対象の回復期の看護	4	1 回復期の看護 1) 回復期の特徴 (1) リハビリテーション医療の特徴 (2) リハビリテーションを受ける患者の特徴 (3) 障害受容と適応 2) 回復期にある成人・老年期の対象への看護 (1) 障害受容プロセスに応じた援助 (2) 生活の再構築に向けた援助 (3) チームアプローチと社会資源の活用 (4) 地域生活への移行支援	
3 成人・老年期にある対象の慢性期の看護	8	1 慢性期の看護 1) 慢性期の特徴 (1) 慢性期の経過と治療の特徴 (2) 慢性期にある患者及び家族の特徴 2) 慢性期にある成人・老年期の対象への看護 (1) 慢性期の患者のニーズ (2) セルフケア・セルフマネジメントに向けた支援 (3) 行動変容に向けた支援 (4) 療養生活を支える社会資源の活用 (5) 家族介護者への支援	

4 終末期の 看護	8	1 終末期看護(エンドオブライフケア) 1) 終末期の特徴 (1) 終末期にある患者及び家族の特徴 (2) 死生観と死への準備 (3) 終末期の経過と治療の特徴 2) 終末期看護(エンドオブライフケア) (1) 意志決定への支援 3) 看取りの実際 (1) 身体的変化とアセスメント (2) 苦痛を緩和するケア (3) 死後の処置 (4) 家族への支援 4) グリーフケア
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		医学書院 別巻 臨床外科総論 ヌーヴェルヒロカワ リハビリテーション看護論 ヌーヴェルヒロカワ 慢性期看護論 医学書院 基礎看護学〔4〕 臨床看護総論
参考資料		必要に応じて提示する。 医学書院 臨床外科看護総論 医学書院 老年看護学 南江堂 成人看護学急性期看護Ⅰ
履修上の 留意事項		科目を履修するにあたり、予習・復習をして授業に臨むこと。
備 考		

科目区分	専門分野	授業科目	成人・老年看護学援助論Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30 時間)	開講年次	2年次
目的: 機能障害のある成人・老年期の対象への看護を实践できる基礎的能力を養う。 目標: 1 呼吸機能に障害のある患者の看護が理解できる。 2 循環機能に障害のある患者の看護が理解できる。 3 身体防御機能に障害のある患者の看護が理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 呼吸機能に障害のある患者の看護	8	1 呼吸機能に障害のある患者の特性 1) 患者心理 2) 身体傾向 3) 起こりやすい問題と生活への影響 (酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害) 2 呼吸機能障害に応じた看護 1) 腫瘍(肺がん、中皮腫) (1) 肺生検 (2) 手術療法(肺切除術)を受ける患者の看護(手術前後) (3) 胸腔ドレナージの管理 2) 炎症性疾患(肺炎、気管支炎、胸膜炎) 3) 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 4) 気管支喘息 5) 治療に伴う看護(非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気)	
2 循環機能に障害のある患者の看護	9	1 循環機能に障害のある患者の特性 1) 患者心理 2) 身体傾向 3) 起こりやすい問題と生活への影響 (ポンプ機能障害、刺激伝導障害、血管・リンパ管障害) 2 循環機能障害に応じた看護 1) 心不全 2) 虚血性心疾患 (1) 経皮的冠動脈形成術<PCI>、冠動脈バイパス術<CABG>、大動脈内バルーンパンピング<IABP> 3) 弁膜症 (1) 弁置換術・弁形成術 4) 不整脈 (1) ペースメーカー、植込み型除細動器 5) 閉塞性動脈硬化症(下肢動脈閉塞症) (1) 血栓溶解療法・血栓除去術 6) 治療に伴う看護(補助循環療法(IABP、PCPS)) 3 検査を受ける患者の看護 (1) 心臓カテーテル検査 (2) 心エコー検査 (3) 血管造影	
3 身体防御機能に障害のある患者の看護	12	1 身体防御機能の障害ある患者の特性 1) 患者心理 2) 身体傾向 3) 起こりやすい問題と生活への影響 (皮膚粘膜障害、免疫機能障害、骨髄機能障害)	

		2 身体防御機能障害に応じた看護 1) アレルギー性疾患・自己免疫疾患 (関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群) (1) 免疫抑制薬、ステロイド療法、減感作療法 (2) スキンテスト (3) 粘膜・皮膚生検 2) 血液悪性疾患(白血病、悪性リンパ腫) (1) 造血幹細胞移植 3) ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症 (1) 抗ヒト免疫不全ウイルス<HIV>療法
	1	試験
評価方法		筆記試験、レポート
テキスト		医学書院 成人看護学〔2〕 呼吸器 医学書院 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院 成人看護学〔4〕 血液・造血器 医学書院 成人看護学〔11〕 アレルギー・膠原病・感染症
参考資料		必要に応じて提示する。 医学書院 老年看護学 医学書院 老年看護 病態・疾患論
履修上の 留意事項		科目を履修するにあたり、解剖生理学、疾病治療論を十分復習して臨むこと。 予習をして授業に臨むこと。 レポート課題や演習は積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は提出日時を厳守すること。
備 考		